

# みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2003/01/18 Vol. 120 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX  
45-8362

E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

## 印西市議会/平成 14 年第 4 回定例会報告 ( 4 ) ～ 市町村合併への視点 / どうする印西市 ( 1 )

いつもお世話になっております。印西市議会(12月定例会)は、12月20日に閉会しました。今回から、「市町村合併への視点」について、12月議会での私からの代表質問、市執行部からの回答をご報告していきたいと思っております。私の質問と執行部の答弁より、皆様とともに、市町村合併について考えていただければと思います。

12/4(水曜日)に、代表質問に立ちました。以下、市当局の回答です。

### 1. 市町村合併問題とまちの将来について

10月31日に印旛合同庁舎で、印旛地域の5市町村が任意合併協議会設置で合意を得たと発表がされ、事務レベルでの話し合いが行われることになったと報じられた。

5市町村では合併に関して、温度差があるように感じるが、合併特例法の期限が平成17年3月に迫る中で、今年度中に近隣の5市町村の意思が固まらなかった場合には、印西市はどのような判断をしていくのだろうか。また、印西市では市町村合併について、市民に対して十分な説明がされ、市民が意思を示す機会が与えられるのであろうか。

(1) 白井市の中村市長は「法定協議会の設置はまだ考えていない。任意のレベルでも十分協議できる」と発言している。白井市抜きでの合併は考えられるのか。

(回答/市長)ご質問にあります白井市長の発言は、先の合同記者会見におけるものであると思いますが、発言は「設置は、まだ、考えていない」とするものであり、その時点では、考えていないとの意味だろうと受けとめております。ご質問にもありますように、市町村には、それぞれの事情があることはむしろ当然であり、それらの調整を個別に図る場が、協議会であると考えております。

ぐんじとしのりより >> 白井市は以前から合併には慎重な立場をとっているように見えます。私たち、まちづくり研究会は 印西市が独走すべきではない。白井市抜きには合併は語れない白井市の位置(地理的環境)を十分に考えるべきだ。と提唱しております。

- 私の手元には「全国都市財政年報」という資料がありますが、この内容を吟味すると、印西市と白井市は財政的に非常に似通った自治体であるといえます。

例えば	2001年度	財政力指数	印西市 0.895	白井市 0.845
		自主財源比率	73.29	69.07
		実質収支比率	4.28	5.86
さらに		公債費比率	18.3	18.2
		人件費比率	20.4	21

など、いいところも悪いところも非常に似通っている。まるで兄弟か、双子のような自治体です。

私は白井市を除いての印西市の合併は考えられないと思っております。

2つの自治体を合わせて10万人になり、都市の基盤ができあがってきます。

是非とも白井市を巻き込んでの合併協議を、慎重にすすめてもらえればと思います。

参考) 白井市での合併意向調査の結果を入手しましたので、一部をご紹介します。～9月30日に市内の18歳以上の人から無作為に選んだ2500人を対象に実施したものです。

質問/市町村合併について他市町村と協議する場合、どのような組合せが良いと思いますか。  
(複数回答可)

回答/

組み合わせ	回答者	パーセント
白井市・印西市・印旛村・本埜村・栄町	528	39.4%
白井市・鎌ヶ谷市・沼南町	532	39.7%
その他	194	14.5%
無回答	85	6.4%
合計	1339	100.0%

\* 印西市でも「千葉銀総研」が提唱した、「白井」「鎌ヶ谷」の2市を対象とした合併を、市職員によるプロジェクトチームが検討しました。この検討の中で、鎌ヶ谷市とは北総線沿線ということ以外は結びつきが少ないため、現在では「県の提案」である5市町村での合併協議が進んでおります。この5市町村では、現在も印西地区環境整備事業組合(ゴミ処理行政)、印西地区消防組合(栄町を除く)、印西地区衛生組合(白井市を除く)といった広域行政事務を行い、また警察(栄町は一部)、法務省の管轄が同一であり、JA(農協)も5市町村で1つの団体となっているなど、「印西地区」という名称を冠する組織がいくつか存在しています。合併による効果として「千葉ニュータウンの整備など共通の地域課題の取組、地域の一体振興」ができるといったメリットが見出せます。(これらは市職員によるプロジェクトチームにより、A4 80ページの資料が作成された報告結果に基づくものです。)

## 任意合併協議会の現状(1)

多くの方から、合併についてどのような動きがあるのか情報がほしいとの要望が寄せられました。最新の情報をお伝えします。～「印西市、白井市、印旛村、本埜村、栄町 任意合併協議会」が昨年12月26日(木曜日)に印西市文化ホールにて開催され、以下のような点が協議/検討されました。

- \* 任意合併協議会(案)について
- \* 任意合併協議会幹事会規定(案)について
- \* 任意合併協議会事務局規定(案)について
- \* 任意合併協議会の運営方針(案)について
- \* 任意合併協議会事業計画(案)について

当日は、全ての案について委員(5市町村の首長、正副議長 合計15名で構成)の合意がされ(一部、原案を修正)合併協議が進められることになりました。この紙面では、事業計画(以下の3項目)についてお知らせします。

< 平成14年度 印西市、白井市、印旛村、本埜村、栄町 任意合併協議会事業計画 >

### 1. 基礎調査に関すること

- (1) 地域の現況と課題の把握
- (2) 先進事例の分析
- (3) 合併の必要性及び効果の検討

### 2. 将来ビジョン原案等の作成に関すること

- (1) 総合計画(基本構想・基本計画)等の分析
- (2) 財政の分析及び予測
- (3) 将来ビジョン原案などの作成

### 3. 法定合併協議会の設置準備に関すること

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も引き続き「市町村合併」についてのご報告をさせていただきます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と一緒に考えていきたいと思っております。よろしくご意見申し上げます。ぐんじとしのり